

第7回 YATSUGATAKECUP ジュニア空手道交流大会

(第7回 JKJO 全日本ジュニア空手道選手権大会・選抜指定大会)

開催のご案内

謹啓 皆様におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、この度「第7回 YATSUGATAKE CUP ジュニア空手道交流大会」を開催する運びとなりました。本大会は武道教育を通じての精神修行および日頃の稽古の成果を試す場として心と技の交流をはかる大会です。

つきましては、本大会開催にあたり、ご多忙中、誠に恐縮ではございますが貴道場のご参加とご協力をお願い申し上げます。

謹白

平成25年3月吉日

日本空手道 北晋寺西道場 師範 寺西 悟

記

第7回 YATSUGATAKECUP ジュニア空手道交流大会

日時 平成25年5月26日(日) 午前9:00開場 午前10:00開会式

場所 北杜市高根体育館
〒408-0002 山梨県北杜市高根町村山北割100 ☎0551-47-4444

主催 日本空手道 北晋寺西道場

後援 北杜市 北杜市教育委員会 山梨日々新聞社 山梨放送

協力 (社)JKJO フルコンタクト委員会 JKJO 全日本空手審判機構

第7回 YATSUGATAKECUP ジュニア空手道交流大会

(第7回 JKJO 全日本ジュニア空手道選手権大会・選抜指定大会)

主催 日本空手道 北晋寺西道場
日時 平成25年5月26日(日) 午前9:00選手受付 午前10:00開会式
会場 北杜市高根体育館(昨年と会場が違いますのご注意ください)
山梨県北杜市高根町村山北割100 ☎0551-47-4444

出場クラス ★幼年・男子の部、女子の部

【選抜のみ】

★小学1年男子、女子の部

★小学2年男子、女子の部

★小学3年男子、女子の部

★小学4年男子、女子の部(30kg未満、30kg以上)

★小学5年男子、女子の部(35kg未満、35kg以上)

★小学6年男子、女子の部(40kg未満、40kg以上)

★中学生女子の部(45kg未満、55kg未満、55kg以上)

★中学生男子の部(45kg未満、55kg未満、65kg未満、65kg以上)

★高校生女子の部(50kg未満、57kg未満、57kg以上)

★高校生男子の部(60kg未満、70kg未満、70kg以上)

※当日(kg未満)のクラスは計量しますので申請体重・出場カテゴリーにはご注意ください。(体重オーバーは失格となります)なお、上はTシャツ・下は道衣での測定となります。(500gまでは服の重さとして許容)

※第7回 JKJO 全日本大会には、各クラスの優勝・準優勝・第3位(3位決定戦有り)が代表権取得となります。

※選抜出場数200名以下優勝者のみ、201~400名は優勝・準優勝の2名、401名以上は3位まで(4名)の選出となります。

※エントリーが4名以内のカテゴリーは合併や無くなる場合もあります。

変更になった場合は各道場にご連絡いたします。

※セコンドは2名、正装でお願いします。

※学年は5月時点での学年で申込してください。

試合形式 JKJO 全日本空手審判機構・公認ルール(別紙参照)

参加費 6,000円(記念品・パンフレット)

その他 出場選手は、各自で必ずスポーツ保険に加入しておいてください。

ゼッケンは大会当日、団体ごとにお渡しします。

選手は各自昼食をご用意ください。

申込締切り 平成25年4月24日(水) 事務局必着厳守

申込先 〒408-0021 山梨県北杜市長坂町長坂上条3104-4

北晋寺西道場大会事務局 TEL・FAX 0551-32-6926(健生館)

※申込は団体責任者が一括して申込用紙と参加費は現金書留にて大会事務局宛にお送りください。

一旦納入された参加費に関しては、いかなる理由があろうとも返却されません。

第7回 YATSUGATAKECUP

ジュニア空手道交流大会出場申込書

開催日 平成 25 年 5 月 26 日 (日) 北杜市高根体育館

〆 切日 4 月 24 日 (水) 必着

大会実行委員長殿

私議、本大会ルールに従って正々堂々競い合う事を誓います。また、試合中における負傷、事故に関し一切異議申し立てをしません。

平成 25 年 月 日

団体責任者名

㊞

保護者名

㊞

| | | | | | |
|---|--------------------------|-----------------|-----------------|---------|--|
| フリガナ | | | | 生年月日 | |
| 氏名 | | 男・女 | 平成 年 月 日 歳 | | |
| 住所 | 〒 | | | TEL () | |
| 学年 | 幼児 (年中・年長) 小学・中学・高校 (年) | | | | |
| 級/段位 | 級・段 | 空手歴 年 ヵ月 | 身長 cm | 体重 kg | |
| 所属道場名 | 支部 責任者名 | | | ㊞ | |
| 道場住所 | 〒 | | | TEL () | |
| 出場クラス (選抜のみ) を○で囲む | | | | | |
| ★幼年男子 | ★幼年女子 | | | | |
| ★小学1年男子 | ★小学1年女子 | | | | |
| ★小学2年男子 | ★小学2年女子 | | | | |
| ★小学3年男子 | ★小学3年女子 | | | | |
| ★小学4年男子 30 kg未満 | ★小学4年男子 30 kg以上 | ★小学4年女子 30 kg未満 | ★小学4年女子 30 kg以上 | | |
| ★小学5年男子 35 kg未満 | ★小学5年男子 35 kg以上 | ★小学5年女子 35 kg未満 | ★小学5年女子 35 kg以上 | | |
| ★小学6年男子 40 kg未満 | ★小学6年男子 40 kg以上 | ★小学6年女子 40 kg未満 | ★小学6年女子 40 kg以上 | | |
| ★中学女子 45 kg未満 | ★中学女子 55 kg未満 | ★中学女子 55 kg以上 | | | |
| ★中学男子 45 kg未満 | ★中学男子 55 kg未満 | ★中学男子 65 kg未満 | ★中学男子 65 kg以上 | | |
| ★高校生女子 50 kg未満 | ★高校生女子 57 kg未満 | ★高校生女子 57 kg以上 | | | |
| ★高校生男子 60 kg未満 | ★高校生男子 70 kg未満 | ★高校生男子 70 kg以上 | | | |
| 第7回 JKJO 全日本大会の代表権を 獲得している 獲得していない どちらかを○で囲んでください | | | | | |
| 大会入賞歴 | | | | | |

※当日 (kg 未満) のクラスは計量しますので申請体重にご注意ください。(体重オーバーは失格となります)

※提出前に出場するクラスの確認および記載漏れのない様ご確認ください。

※学年は5月時点での学年で申込して下さい。

【試合時間】●幼児・小学生・中学生＝本戦 1 分 30 秒→延長 1 分→再延長 1 分（決勝のみ・マストシステム）

●高校生＝本戦 2 分→延長 2 分→再延長 2 分（決勝のみ・マストシステム）

| 防具 | ヘッドガード | 拳サポーター | スネサポーター | 膝サポーター | ファールカップ | 胸ガード |
|------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 幼小男子 | 主催者用意 | JKJO指定品 | JKJO指定品 | 3年以上義務 | ○ | × |
| 幼少女子 | 主催者用意 | JKJO指定品 | JKJO指定品 | 3年以上義務 | ○ | 3年以上義務 |
| 中学女子 | 主催者用意 | JKJO指定品 | JKJO指定品 | ○ | ○ | ○ |
| 中学男子 | 主催者用意 | JKJO指定品 | JKJO指定品 | ○ | ○ | × |
| 高校女子 | 主催者用意 | 主催者用意 | JKJO指定品 | ○ | ○ | ○ |
| 高校男子 | 主催者用意 | 主催者用意 | JKJO指定品 | ○ | ○ | × |

※ヘッドガード、高校生のパンチンググローブは主催者が用意します。（ヘッドガードについて本年度より高校生も正面網有りです）

※ヘッドガードは JKJO 指定品で赤と白のコーナー毎に持参していれば、自分の物を使用しても結構です。

※膝サポーターは3年生以上、義務となります。2年生以下は自由です。

【一本勝ち】

- 反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどで瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒した場合はすべて一本勝ちとします
- ダメージにより戦意喪失した場合。
- 技あり二本とった場合（合わせ一本）

【技あり】

- 反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどで瞬間的に決め、そのダメージにより一時的に動きが止まった場合。または、崩れた場合、戦意喪失した場合は技ありとします。
- ノーガードで相手選手の上段に蹴り技がヒットした場合。
- 上段蹴りによりガードをしてもバランスを崩し倒れた場合。
- 前蹴り、下段蹴りで相手選手をきれいに転倒させて下段突きをした場合。
- 下段蹴りなどで相手選手が足を引きずる様な場合。
- 同時に蹴りが入った場合は先に入った方が技ありとし、まったく同じ場合は相打ちとし技ありはとらない。
- 胴廻し回転蹴りをかまし、タイミングよく下段突きをした場合。

【判定】

- 一本勝ち、失格がない場合は、主審 1 名、副審 4 名（2 名）のうち 3 名以上の審判機構の判断を有効とする。技ありがある場合は、技ありを優先する。
- 技ありがない場合は、ダメージを優先する。
- ダメージがない場合は、有効打を含めた手数、足数を優先する。
- 有効打を含めた手数、足数が同じ場合は、気迫が勝っている方が勝ちとする。
- 「注意」がある場合は「審判判断基準」に基づく。

【反則】

- 掴み、掴んでからの攻撃。●掌底、または正拳による押し。●手、肘による顔面への攻撃。●頭突き金的への攻撃。
- 倒れた相手、背後からの攻撃。●故意に場外に出る事故意に倒れ相手に攻撃させない事。かけ逃げなど ●頭をつけての攻撃。
- 抱え込み（先に抱え込んだ方の反則とする）
- 以上の反則には審判より注意が与えられ、注意 4 で失格（反則負け）となります。

【注意事項】

- 事故が生じた場合、主催者側は一切責任を負いかねます。(各自でスポーツ保険に加入しておいてください)
- 参加者は大会前に必ず医師の健康診断を受けてください。診断書の提出は不要です。
- 保護者の過度の応援は退場とし、今後出場は認めません。
- 男子のインナーTシャツは禁止、女子のインナーTシャツは白のみとする。ファールカップはズボンの中に着用すること。
- コートの上入り、試合前後の挨拶は必ず頭を下げて行うこと。
- 判定後の「雄叫び」「ガッツポーズ」は禁止とする。
- 審判に対しての抗議は一切受け付けません。